2020秋コロナ禍の中で　西国街道　武庫川髭の渡し　2020.10.11.

国道171号線　武庫川甲武橋東岸周辺
六甲を背にした甲山の眺望と河川敷に出現したこの秋の草原

西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　2020.10.11.

尼崎武庫川河川敷
旧西国街道「髭の渡し」
2020.10.11.

2020.10.11.　武庫川　尼崎　髭の渡し（旧西国街道）.
西宮/尼崎の境を大阪湾に注ぐ武庫川
西宮から伊丹昆陽の里へ抜ける西国街道の渡し「髭の渡し」跡
土手の下には緑に包まれた素晴らしい草原園地に整備された河川敷が
ひろ勝っていました。　今秋　尼崎にも素晴らしい秋の草原出現

髭の渡し跡★
段上町
大市
武庫川
常松
甲武橋
171
西昆陽
武庫の里
武庫
常吉

宿 駅
街道沿いの村
小浜
加茂
川西市
池田市
北摂木
石橋
宝塚市
大鹿
下河原
北令在家
豊中市
伊丹市
髭の渡し
髭の渡し跡★
西昆陽
昆陽
千僧
伊丹
猪名川
時友
常松
下大市
広田
武庫川
塚口
有馬道
神崎の渡し
西宮市
尼崎市
久々知
中
神崎
中国街道
西宮
0 1 2km

国道171号線
髭の渡し跡
武庫川河川敷園地
山陽新幹線
国道171号線

草原のあちこちに彼岸花が咲き秋の草原を彩っていました
武庫川の土手から　髭の渡し船着き場へ向かう道　河川敷で

西国街道の渡し「髭の渡し」跡　2020.10.11.

いつもの秋ならばコスモス畑が広がる秋景色と聞きましたが、今秋はコスモス畑が中止され、緑の草原が広がり、周りを眺めながらゆったりと時を過ごせる草原に

六甲連山を背にする甲山の姿を眺めるビューポイント
国道171号線　武庫川甲武橋周辺の尼崎側の土手
河原に下りるとかつての西国街道　髭の渡し跡
見渡す限り緑の美しい草原が眼前に。
「尼崎にもこんな心地よい草原がある」
とびっくりでした。
地元の人にはコスモス畑が見られず、
残念だったのかもしれませんが、
心地よい緑の草原の散策ができました。

西国街道の渡し「髭の渡し」跡　2020.10.11.

「西国街道のかつての渡し場　武庫川土手の一番景色のいい場所」
毎度伊丹に出かけるたびに通過する国道１７１線甲武橋。今日は時間もたっぷり。
甲武橋の河川敷を少し歩いて、気になっていたコスモス畑と武庫川の渡し場へ。
もう何十年も前の記憶をたどり、また市街化が進み、ついぞ全貌が見られにくく
なった甲山の姿ゆっくり眺めようと家内と二人で風来坊

スマホで見つけた甲武橋北の動物愛護センターに駐車して河川敷の園地を歩く。
土手から河川敷に降りてびっくり。
きれいに整備された草原が河川敷一杯に広がる美しい景色。
旧の西国街道　髭の渡し
かつてよく見慣れた甲山も川向う六甲連山を背景に全貌を見せてくれ、
記憶通りの素晴らしい武庫川土手の姿。本当に久しぶり

この草原に毎年秋コスモス畑が作られるのですが、
今年はコロナ禍で中止。大きく広がった草原の姿が見られ、ラツキーでした。
作られた草原園地ですが、「こんなに美しい草原が尼崎にもある」と。
また、川向う正面に眺める甲山　子どもの頃と変わらず堂々とした姿で。
「髭の渡し」もう忘れかけていましたが、
子供のころの記憶をたどりながらの楽しい散策になりました。

西国街道の渡し「髭の渡し」2020.10.11.

尼崎武庫川河川敷　旧西国街道「髭の渡し」2020.10.11.

六甲連山を背にする甲山の姿を眺めるビューポイント国道171号線
武庫川甲武橋周辺の尼崎側の土手
河原に下りるとかつての西国街道　髭の渡し跡
見渡す限り緑の美しい草原が眼前に。

西国街道の渡し「髭の渡し」の土手からから眺める甲山&六甲連山　２０２０.10.11.

2020.10.11.　髭の渡し（旧西国街道）から眺める甲山

甲山の手前の建物は野球で有名な報徳学園高校

西国街道の渡し「髭の渡し」の土手から河川敷への降り口周辺で　2020.10.11.

西国街道・髭の渡し

この付近には江戸時代に武庫川を越える西国街道の渡し場がありました。街道沿いの西昆陽村に髭をはやした老人が営む茶屋があったことから「髭の渡し」と名づけられたといわれています。江戸幕府の命令によって文化3年(1806)に作られた「山崎通分間延絵図」を見ると、武庫川の河原をはさんで街道の道筋が両岸の堤のところで途切れていますが、ここに渡しがありました。渡し場の様子は描かれていませんが、尼崎側の街道沿いに「髭茶屋」や「立場(人足が休息する所)」と注記された建物が描かれています。

この渡しでは東から西への川越えは常松村と西昆陽村の2カ村が月番で受け持ち、西から東への川越えは、段上村、上大市村、下大市村(いずれも現在は西宮市)の3カ村が月番で受け持っていました。例年10月中旬から翌年春の彼岸までは、板橋が架けられ、水量が増した時には人足の肩越えによる渡しが行われていましたが、後には船での渡しが行われるようになりました。

参勤交代の大名や往来の旅人など数多くの人々に利用されてきたこの渡しは、明治の終わりに下流に甲武橋が架けられ、西国街道の新道(現国道171号線)ができるまで続きました。

兵庫県[illegible]土木事務所
尼　崎　市

西国街道の渡し「髭の渡し」2020.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」の土手から河川敷　降り口周辺

西国街道の渡し「髭の渡し」
土手から河川敷への降り口から小道が武庫川の河原へ続く
かつては茶店や行き交う人でにぎやかな渡し場だったようですが、
今は本当に静かな所　電線もなく映画のシーンを見ているようです

西国街道の渡し「髭の渡し」土手から河川敷への小道で

西国街道の渡し「髭の渡し」　2020.10.11.
河川敷一杯に広がる草原の向こう川岸に沿って遊歩道があり、川の向こうに六甲を背にした
甲山が見える。　子どもの頃からよく見た甲山の姿　今日はゆっくりと
彼岸花も草原のあちこちに咲いていて　この秋の景色に花を添えている。

西国街道の渡し「髭の渡し」　川岸に沿う遊歩道　散策を楽しむ人たち　2020.10.11.

広い武庫川の河川敷　かつては西宮から京へ向かう西国街道
武庫川の髭の渡し跡　広い河川敷が自然そのままの草原公園として整備されている。
まるで　広い草原の中を散策しているような感じである。
武庫川の堤防の中　かつては　自然堤防の中にあった耕作地　今は春の菜の花　秋のコスモス畑として整備された公園。でも今年はコロナ禍でコスモス畑にできず、草原がそのまま残ってこの緑の草原風情が楽しめる。　草原のあちこちに咲く彼岸花が秋のひとときを感じさせてくれる。
街道沿いの大きな松などの樹木が点在し、木陰に座ってこの景色を楽しむ人たちが見える。草原の中に整備された道も柵も全くなく人工物がない緑の空間。川岸に近づくと清流武庫川の流れ、六甲の山並の前に甲山の姿全体が見える。　子供の時によく見た武庫川・甲山の姿がありました。
ほったらかしにされた草原ではない。よく整備された草原　でもいわゆる公園のような窮屈さがない。
このままの姿　維持した公園であってほしいなぁ・・・と

西国街道の渡し「髭の渡し」の草原で　彼岸花　2020.10.11.

2020.10.11.　尼崎　武庫川河川敷　髭の渡し（旧西国街道）.

西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　　２０２０.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　　２０２０.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　　２０２０.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　　２０２０.10.11.

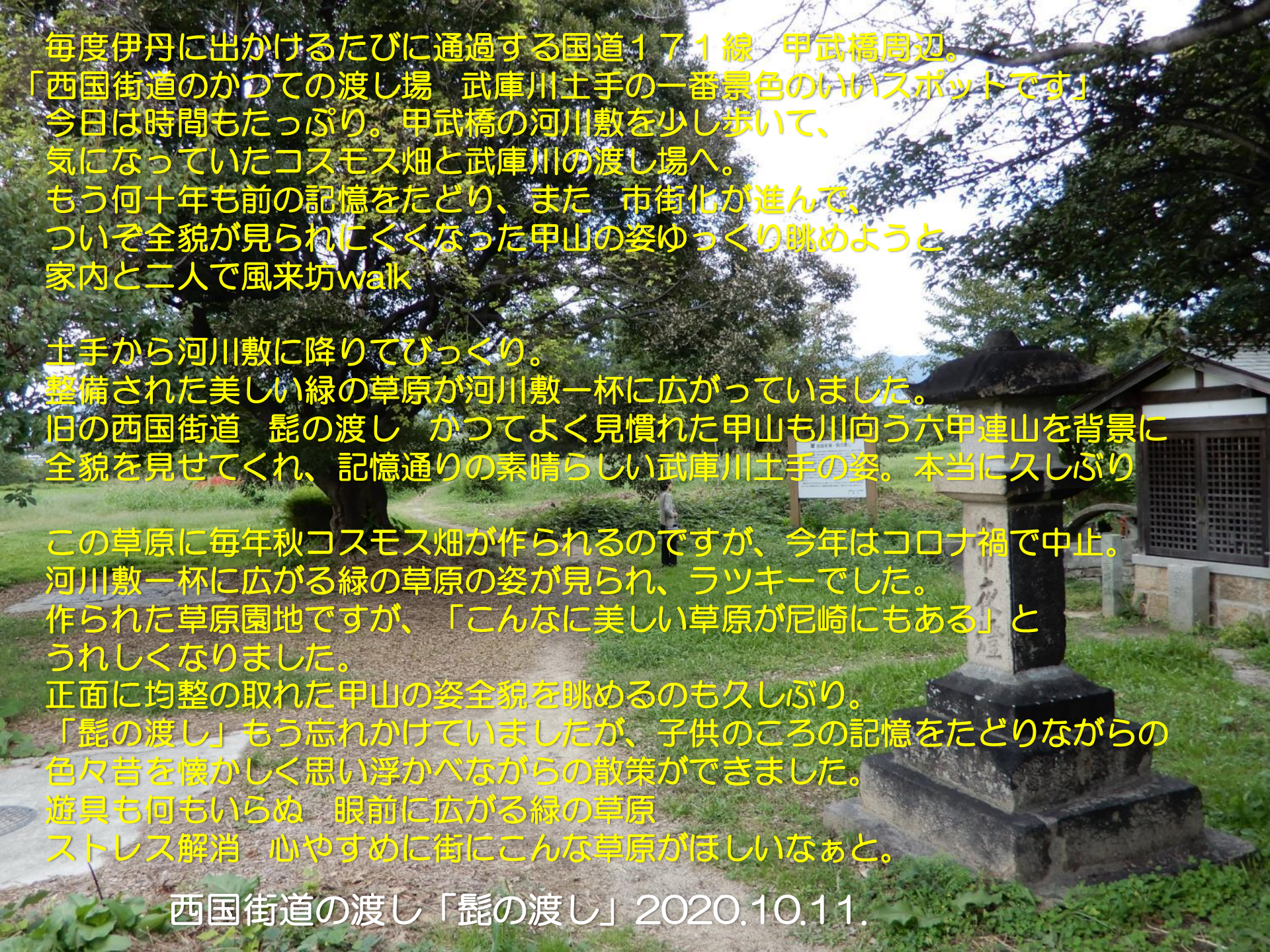
西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　　２０２０.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」　２０２０.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」　土手の上より眺める甲山　２０２０.10.11.

「髭の渡し」のすぐ南　現在の西国街道　国道１７１号線
甲武橋より眺める甲山　２０２０.10.11.

西国街道の渡し「髭の渡し」2020.10.11.



毎度伊丹に出かけるたびに通過する国道１７１線　甲武橋周辺。
「西国街道のかつての渡し場　武庫川土手の一番景色のいいスポットです」
今日は時間もたっぷり。甲武橋の河川敷を少し歩いて、
気になっていたコスモス畑と武庫川の渡し場へ。
もう何十年も前の記憶をたどり、また　市街化が進んで、
ついぞ全貌が見られにくくなった甲山の姿ゆっくり眺めようと
家内と二人で風来坊walk

土手から河川敷に降りてびっくり。
整備された美しい緑の草原が河川敷一杯に広がっていました。
旧の西国街道　髭の渡し　かつてよく見慣れた甲山も川向う六甲連山を背景に
全貌を見せてくれ、記憶通りの素晴らしい武庫川土手の姿。本当に久しぶり

この草原に毎年秋コスモス畑が作られるのですが、今年はコロナ禍で中止。
河川敷一杯に広がる緑の草原の姿が見られ、ラツキーでした。
作られた草原園地ですが、「こんなに美しい草原が尼崎にもある」と
うれしくなりました。
正面に均整の取れた甲山の姿全貌を眺めるのも久しぶり。
「髭の渡し」もう忘れかけていましたが、子供のころの記憶をたどりながらの
色々昔を懐かしく思い浮かべながらの散策ができました。
遊具も何もいらぬ　眼前に広がる緑の草原
ストレス解消　心やすめに街にこんな草原がほしいなぁと。

西国街道の渡し「髭の渡し」2020.10.11.

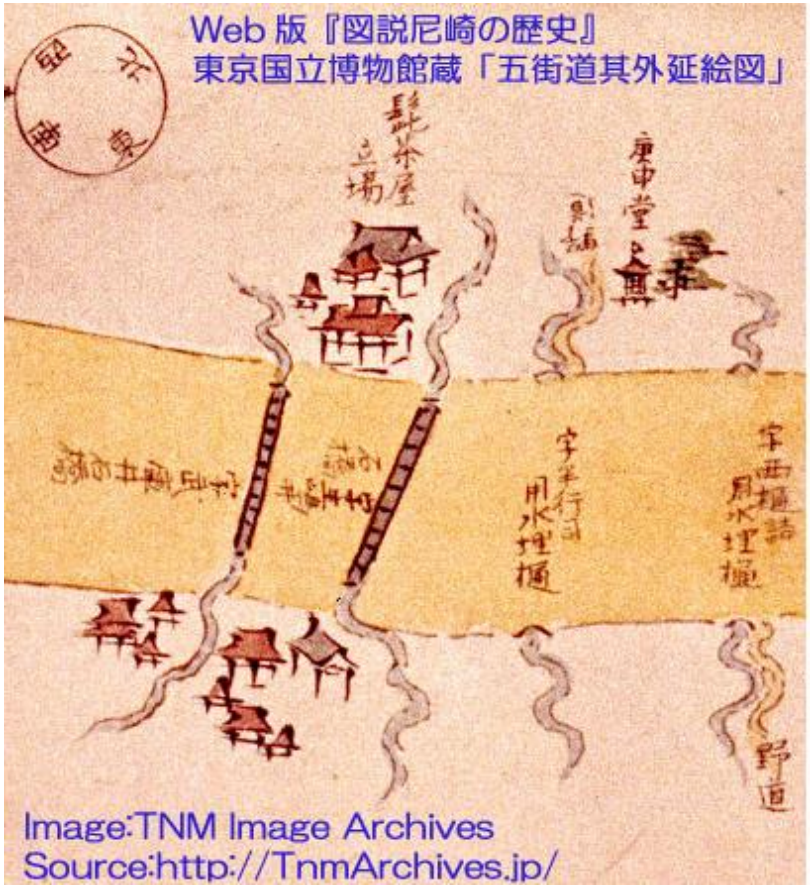
西国街道

西国街道は、江戸時代における街道の1つで近世山陽道の別名で、京都から下関、あるいは九州の太宰府までの経路で、律令時代に大路として整備された「山陽道」とほぼ一致。狭義の西国街道(旧西国街道・山崎通)として京都 - 西宮までの区間を指す場合もある。現在は国道171号線が西宮-京都間をほぼ同じ淀川西岸を結び、この国道を西国街道と呼ぶことも多い。

「髭の渡し」

西宮/尼崎の境を南北に大阪湾へ注ぐ武庫川西宮から伊丹昆陽の里へ抜ける西国街道の渡しが「髭の渡し」である

現在河川敷園地として整備され秋にはコスモス畑として、親しまれている



西国街道・髭の渡しの茶屋「五街道其外延絵図」
重文　東京国立博物館蔵

尼崎市域で西国街道が通っているのは武庫川の東、西昆陽村です。西国街道昆陽宿から15丁ほど西にすすむと西昆陽村で、ここで武庫川を渡ります。
「髭の渡し」と親しまれ、旅人や人足・馬子が休息する茶屋がありました。
通常は仮橋が架けられ歩行渡りをしていたとありますが、増水すると人足の肩車や蓮台による川渡しが行なわれました。
増水時には、武庫川の東岸では西昆陽村と常松村が隔月で西側への渡しを担当し、西岸は段上村・上大市村・下大市村（以上現西宮市）が対岸への渡しを月交代で担当しました。
増水時の蓮台による渡しについては、水の深さごとに「小深」＝台1挺につき人足6人掛かり、「腰切」＝台1挺につき8人掛かり、「臍切」＝台1挺につき人足10人掛かり、「乳切」＝台1挺につき人足12人掛かり、とも記されています。

図説尼崎の歴史より

http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/chronicles/visual/03kinsei/kinsei2-5.html

髭の渡し跡
武庫川河川敷園地

国道171号線

山陽新幹線

国道171号線

2020秋コロナ禍の中で　西国街道　武庫川髭の渡し　2020.10.11.

国道171号線　武庫川甲武橋東岸周辺
六甲を背にした甲山の眺望と河川敷に出現したこの秋の草原

西国街道の渡し「髭の渡し」　河川敷の草原で　2020.10.11.

髭の渡しから眺めた甲山　　2020.10.11.

2020秋コロナ禍の中で　西国街道　武庫川髭の渡し　2020.10.11.

国道171号線　武庫川甲武橋東岸周辺
六甲を背にした甲山の眺望と河川敷に出現したこの秋の草原

2020.10.12. 神戸総合運動公園のコスモス
今年はコスモスも咲くのが遅れ気味　今日の散歩で

2020年秋 From Kobe